

鬼	北上市立	館
だ	の	より
第18号		



冬休みワークショップ

## 親子で工作し・ま・しょ。

平成14年12月26日・27日、冬休みワークショップとして「招福くまでづくり」を楽しみました。

自分で作った小さなはりこ2つと、南天・松の葉・御幣・折り鶴や小判等と共に小さなくまでに飾りつけました。

参加者は小学1年生から6年生の親子です。

5時間かけて作った自分だけのくまで飾り。どんな福が招き入れられるでしょうね。



# 平成15年度の催し = 事業計画 =

## 企画展 17

河口邦夫 鬼と生きる (仮称)

平成15年7月6日(日)～9月7日(日)

江戸時代初頭、街道筋のお土産品だった庶民性豊かな民画「大津絵」。それを模倣し、脚色して独自に描いている河口氏の作品には、「鬼の念仏」「鬼の三味線」「七福神」などがあり、世俗画や仏画で構成されます。

河口氏自身の「鬼の目」で見た現代社会の風情を鬼絵として描写した数々の作品をご鑑賞ください。



鬼の三味線

## 特別展 開放事業

児玉晃・智江 ～二人展～

平成15年4月27日(日)～6月22日(日)

地域に根差し親しまれ、活用される博物館づくり事業の一端として実施する展示室開放事業です。

市内在住の創作活動家並びに地域研究家として知られる児玉智江さんの創作作品と、現在東京で活躍中の児玉晃さんの油絵を「二人展」として公開展示します。

## 特別展 開放事業

—内容未定—

平成15年9月21日(日)～11月3日(月)

## 特別展

市民の心のたからもの展

平成16年1月25日(日)～3月7日(日)

誰にでも心の思い出があります。その思い出に付随した愛蔵の品々を借用して紹介します。

## 特別展

平成15年度収蔵資料展

平成16年3月17日(水)～5月5日(水)

平成15年度の新収集資料を中心に展示します。

## ◆鬼の館の芸能公演◆

4月～11月・3月の第4日曜日

5月4日(日)(連休公演)、8月12日(火)(お盆公演)

午後1時30分～2時30分

北上市内の鬼剣舞踊り組を中心にした芸能公演です。見どころを詳しく解説します。観覧無料。

## ◆第10回大乘神楽大会◆

平成15年6月8日(日)午前10時～午後3時

北上市内の大乘神楽をつぶさに鑑賞できる好機です。観覧無料。

## 特別展

神々と鬼 ～鬼神・餓鬼・妖怪～

平成15年11月16日(日)～平成16年1月12日(月)

「鬼」は、怖く恐ろしいものとして知られています。しかし、我々の周囲に纏わり付く「鬼」は



葛巻 正福寺 餓鬼

そればかりではなくもう一つの顔があります。国内及び国外の行事や儀礼・信仰祭儀に登場する「鬼たち」をそれぞれ区分して分りやすく紹介します。

## 平成15年度 催しものカレンダー

### ◆鬼学講座◆

全6回講座 定員40名  
移動研修あり(1泊2日)

講義を中心に移動研修・研究発表などを盛り込んだ充実した内容です。



昨年度の移動研修

### ◆鬼っこわんぱく講座◆

全6回講座 定員15名  
鬼っこ合宿あり(2泊3日)

創作活動や鬼剣舞体験を通して、地域を越えた仲間づくりと伝承活動への理解をめざします。



昨年度の子どもの日ワクワクイベント

### ◆鬼ZZ・プレイミュージアム◆

土曜日他

活動の中心は「はりこのお面づくり」です。北上市内の小学校、公民館等、館外へ出かけての活動も盛んです。



昨年度の冬休みワークショップ

企画展示室	講座 <small>☆鬼っこわんぱく講座★鬼学講座</small>	鬼ZZ・プレイ ミュージアム	芸能公演 <small>◇鬼剣舞公演</small>	休館日
4 〈特別展〉 平成14年度収蔵資料展 ○20(日) ○27(日)			◇27 ◇4	
5 〈特別展〉 開放事業① ～児玉 晃・智江 二人展～	☆5 こどもの日 わくわく イベント		◇25	27
6 ○22(日)	★15 鬼学講座Ⅰ		◆8 大乘神楽大会	
7 ○6(日) 企画展17 ～河口邦夫 鬼と生きる～ (仮称)	★20 鬼学講座Ⅱ	♡21 ♡28 ♡5 ♡12 ♡19 ♡25 ♡26 ♡1 ♡2 ♡6 ♡9 ♡15 ♡16	『七夕の笹かざりを つくりましょう』 夏休み 『魔よけすだれづくり』 ◇27	22
8 ○7(日)	☆1～3 鬼っこ合宿 ～鬼の里を 訪ねよう～		◆7 ◆8 ◆9 北上市 夏まつり	
9 ○21(日)	★17 鬼学講座Ⅲ		夏休み 『はりこ面づくり』 ◇12 ◇24	24
10 〈特別展〉 開放事業②	★26～27 鬼学講座Ⅳ 移動研修		◇28	
11 ○3(月) ○16(日)	★9 鬼学講座Ⅵ 鬼シンポ ジウム		◇26 ◇23	25 29 27 30 28
12 〈特別展〉 神々と鬼 ～鬼神・餓鬼・妖怪～		♡26 ♡27	冬休み 『招福くまでづくり』	1 24 31 8 28 15 29 22 30
1 ○12(月) ○25(日)	☆10 鬼剣舞体験① ☆11 鬼剣舞体験② ☆18 鬼剣舞体験③ ☆25 鬼剣舞体験④	♡9 ♡10 ♡16 ♡17	冬休み 『凧づくり』 冬休み 『はりこ面づくり』	1 5 26 2 13 3 14 4 19
2 〈特別展〉 市民の心の たからもの展	☆1 鬼剣舞発表会 (福豆鬼節分会)			2 16 9 23 12
3 ○7(日) ○17(水) 〈特別展〉 平成15年度収蔵資料展 平成16年5月5日まで			◇28	1 29 8 15 22 23

※催しものは変更になることがあります。  
あらかじめお問い合わせください。

新収集資料より

# 大津絵 ~鬼の念仏~

諷刺画としても知られる大津絵は、江戸時代から明治時代初期（17世紀から19世紀末）にかけて大津宿から京に向かう街道筋の大谷町・追分町周辺で旅人相手におみやげ品として販売された絵で、庶民性豊かな絵であることから民画とも呼ばれます。

絵の多くは一般庶民が描いたものであり、落款や絵師名がないのが特徴ですが、18世紀中ばになると浮世絵師や絵師・仏画を描く職工人等が参入し、絵師名や落款が記されるようになります。

絵は「阿弥陀仏」・「阿弥陀三尊来迎図」・「大日如来」のような仏画と「鬼の念仏」・「鬼と太鼓」・「鬼の三味線弾」などの世俗画、さらに道歌

を伴う絵画の3様からなり、その種類は多様な絵からなります。

しかし、大津絵も時代の近代化に押し流され、京都・大津間の鉄道開設（1880年）によって終焉を迎え、その後、大津絵は、富岡鉄斎や橋本関雪ほかの近代画家達によって受け継がれます。



## 平成14年度

〔寄贈資料〕

- 木製 大型 鬼剣舞面（赤） 1点  
北上市中野町 萩原慶蔵様
- 原画 鬼翔平物語（鬼かけっこ物語）18枚1式  
鬼翔平イメージ画（版画絵） 1点  
版画カレンダー 鬼月から暦 1点  
元鬼がなによりごよみ 2部  
前橋市 野村たかあき様
- 軸装 節分画「オカメと鬼」1幅  
胆沢郡胆沢町 鈴木明美様
- 錦絵一勇斎国芳画「初雪のたわむれ」大判2枚組1式  
楊湯関延画「初雪の庭景」大判1枚  
大田区 古美術江戸屋 金子静枝様
- 獅子人形 2点 北上市青柳町 井上光子様
- 山台都監劇面 タルツム（青・黄・赤・緑）4点  
北上市滑田 佐藤雅紀様
- 写真 アテルイ肖像 1点  
会津若松 福島県立博物館様
- 創作仮面 「炎鬼」5点、「御陣乗太鼓」3点  
「側面鬼」1点、創作焼物「鬼」1点、「ばんざい鬼」1点  
名古屋市 水野 進様
- 張り子 姫路張り子（鬼）1点  
北上市鬼柳町 佐藤克英様
- 木製 大型鬼剣舞面（黒）1点  
北上市大堤西 照井光喜様

## 新収集資料

〔寄託資料〕

- 木製 鬼剣舞面（白）1点  
北上市滑田 佐藤雅紀様
- 版画 大津絵「鬼の念佛」1枚、襖絵 大津襖絵6枚、錦絵「堀川夜討之図」大判3枚組1式、押絵籠「五条橋義経・弁慶」2点、「義経武者姿」1点、「義経の笛吹き」1点、軸装「役行者小角」1幅、「赤鐘鍾馗図」1幅、「大津絵 猿廻之図」1幅、「大津絵槍持ち奴」1幅、軸本紙「大津絵 天神」1幅 計17点  
北上市村崎野 針生泰彦様

〔購入資料〕

- 錦絵 歌川国貞画「弁慶と牛若丸」大判2枚組1式
- 錦絵 歌川壱景画「江戸名所道戯尽二」大判1点
- 錦絵 一勇斎国芳画「頼光鬼退治之図」大判3枚組1式
- 軸装 鍾馗絵 1点
- 押絵籠 「鍾馗籠」1点  
端午の節句飾り 8点1式
- 木製 鬼剣舞面（白・赤）2点
- 原画 鬼かけっこ物語（わがおに）版画絵 18枚1式
- 仏像 四天王立像（広目天）1体
- 版画 大津絵「鬼の念佛」1枚

【ありがとうございました】

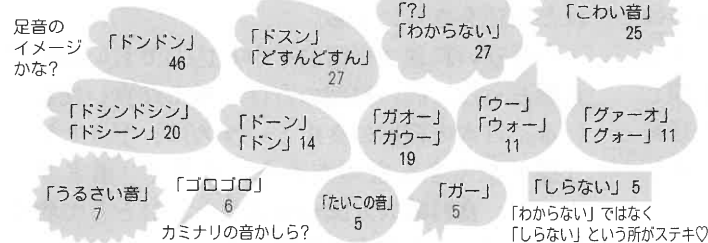
# キミの思う鬼 どんな鬼??

—鬼ッズ・プレイミュージアムより—

平成11年より始まった鬼ッズ・プレイミュージアム。これまでたくさんの子供達が参加し、活動してきました。平成14年1月から参加した子供達にお願いしアンケートを試みました。アンケート用紙の表には、参加したワークショップの感想を、そして、裏には5つの質問に答える形式で「自分の思っている鬼のイメージ」を記入してもらいました。約1年の間に537通もの回答を得る事ができました。とても楽しい内容なので、ご紹介いたします。

## Q1、鬼の音ってどんな音だと思う?

まずは、多数意見から。



多数意見だけに納得のいく鬼のイメージ音といった感じですね。擬音で表している子が多数です。続いては少数意見から。

- ・音なし・ない
- ・おどりの音
- ・和だいの音
- ・笛の音
- ・ドドスコト
- ・しろとあか
- ・いい音・やさしい音
- ・ふしぎな音
- ・うるさくて死にそうでさらに音が太ようまでときそう
- ・耳がこわれそうな音
- ・あぶらっぽい音
- ・きいてみたい... ような
- ・いてじゃ
- ・なにしたの
- ・かわった音
- ・キューレッツな音
- ・はげしい音
- ・かいじゅうにちかい音
- ・おならみたいな音
- ・おもしろかった
- ・えっ、きいたことあるの?
- ・わるいこはいないか!
- ・なまはげ?スネカ?
- ・ぜんぜんかんじない
- ・人のこえみたいな音
- ・わすれた

少数意見になると擬音もいろいろです。

- ・イミフメイノ音例えばドン、プチ、ガン、ズドドン
- ・ヴィア ヌ・ウゲー・おっは〜
- ・おにおに・ズッシンボン・きき・きつつきつつ・くはくはくは・グワゴロ
- ・ゴッキー
- ・しゃりしゃり・ズンズンチャカチャカブーン・ダゴーンゴーン・デ
- ・コー
- ・デンデンゴー・ドスコイ・ドクラー・どっどん・はげちゃびん・パビペベ
- ・ポバポ
- ・ピカッーゴロゴロゴロガオーワンワン・ヒュードドドドド・ベアアーベ
- ・マーベアホー・わしゃごしょう〜ん

実施して「思わぬ収穫」と思えたのが、アンケートに記入している時の子供達の様子でした。「えーさわれなーい」「ペロリー!?ヤダー」「におい?くっせー」と大喜びの大騒ぎ。空想の世界とはいえキャーキャーワーワーエーッ!明らかに鬼と出会っているのです。また、1つ1つの質問に対して子供達の回答範囲が広く、しかし、明確なイメージで答えてくれるのは「鬼」はつかみどころのない不確かな存在でありながらも、意識の中に確実にすみつき想像をかきたてる、他にはない特殊な対象といえる事なのかもしれません。

今回は一部をご紹介しました。「におい」や「味」についても書いてあります。続きは順次掲載の予定です。お楽しみに…。

## 『できごと Oni Museum』

～新聞の見出し～

H.14下半年

田澤さんの油絵など公開 来月24日まで

「魍魎魎展」現代の「鬼」キャンパスに表現

〔岩手日日 H14/10/8〕

現代版「百鬼夜行」の世界

26点の油彩を展示

〔朝日新聞 10/11〕

出かけてみよう

あなたの町のミュージアム

〔河北新報 10/19〕

現代の妖怪を風刺

洋画家、田澤氏が講演

〔岩手日日 10/29〕

入館者数、前年度上回る

今年度上半期「月曜日開催」効果で〔岩手日日 11/7〕

生と死の精神世界

「魍魎魎展」図録を発刊

〔岩手日日 11/23〕

勇壮な舞 来館者癒了

年内最後の定期公演

〔岩手日日 11/28〕

蝦夷の姿書で表現 鼎の会書作展

〔岩手日日 12/4〕

蝦夷の系譜 アテルイ・安部氏を書く

佐藤紫雲 戸島魯休 書作展

〔週間きたかみ 12/21〕

鬼の面づくり講座開催

〔週間きたかみ 12/21〕

うまく揚がるよう

親子が連だこ作り

〔岩手日日 H15/1/9〕

踊りのこつ和やかに 「わんぱく講座」

節分会控え練習に励む

〔岩手日日 H15/1/16〕

仕上がりを楽しみに 親子工作

張り子面作りを体験

〔岩手日日 1/19〕

きょうから「市民の心のたからもの展」〔岩手日日 1/19〕

福豆まきなど催し多彩に

来月2日に節分会

秋田のナマハゲ今年も来北

〔岩手日日 1/31〕

「泣く子はいねえが」

若美町(秋田)からナマハゲ来訪

鬼の姿に子供たちが歓声

〔岩手日日 2/2〕

ナマハゲ怖いよーっ!

北上の岩崎地区節分ちなみ来県

〔岩手日報 2/3〕

福豆節分会 鬼の館野外ステージ〔週間きたかみ 1/25〕

先を争い「福」拾い

鬼の館節分会 家族連れでにぎわう〔岩手日日 2/3〕

秋田の仲間が激励 鬼のテーマの北上市民劇場

準リハーサルにナマハゲ登場

〔岩手日日 2/4〕

子供たちの舞に拍手 わんぱく講座

練習に励んだ鬼剣舞披露

〔岩手日日 2/5〕

思い出の品ずらり 「心のたからもの展」

時代をしのぶ70点展示

〔岩手日日 2/11〕

賑わった「遊鬼まつり」

鬼の館福豆節分会

〔週間きたかみ 2/15〕

1年間の収集資料一堂に

来月6日から特別展

〔岩手日日 2/27〕

誰の心を映し出すか…

鬼神、餓鬼、妖怪など時代を越えて集結

〔週間きたかみ 3/1〕

## 佐渡印象断片

—第9回全国鬼サミットに参加して—

力丸光雄  
(鬼の館館長)

本土から海路をとって佐渡へ渡るには、二つの主要な航路がある。一つは新潟港から両津港へ。もう一つは直江津港からおぎ小木港へ。どちらもカーフェ車渡船で二時間半、高速艇で六十分である。

高速艇は速い分、運賃は高い。それよりもなによりも、B社製というのがひっかかる。大八州を焼土と化し、何百万か知れぬ無辜の市民を殺傷した爆撃機の複製元が造ったものに乗せられるのは屈辱感を伴う。私はやはり渡船を選ぶことにする。

八月の「日本佐渡学会」の時は、両津に上陸したので、今回は少し遠まわりだが、新幹線で長野まで行き、信越本線に乗りかえて直江津へ、そして小木に着いた。

二ヶ月ぶりにしかすぎないのに、佐渡の山々が見えて来た時は、胸がときめいた。不思議ななつかしさがこみ上げてきたのである。学会の時出会った人々と再会できる期待感も大きかった。

小木線の乗合で新町(真野町)まで行き、南線に乗りかえる。ほとんど人気のない停留所で待つ間に、一人の老婦人と話をする。南浜から嫁に来て、畑野に住んでいるという。「小佐渡」と呼ばれる島南部と、今いる中央部の「国仲」との言葉や習慣の違いをいくらか知ることができた。

前回来たときに、すぐ気付いたことがだ。南の小木から北端の弾崎まで僅か数十kmにすぎないこの島の中で、さまざまな言葉や習俗が雑居している。とくに北部の「大佐渡」の海岸—外海府・内海府などは、入江ごとに民俗が違う、いや、同じ集落の中でも、それぞれ異なった伝承をもつ族がいる。

サミットが終わったら、佐渡の「おに」について、前回調べ残したことを調査しようと思うが、二三日の日程ではいかにも心細い。

第一夜の宿は、加茂湖を見下ろす岡上のしいざき椎崎温泉。暮れかけの長い坂道を上る。車輪付きの旅行かばんにしてよかった。

木立の中から謡曲が聞こえる。やしろ社の境内に能舞台があって、薪能がはじまるという。

佐渡が能の盛んなところだとはよく知られてい



る。世阿弥が流された土地柄のせいもあるだろうが、能役者の家の出という佐渡奉行大久保長安によるところが大きいらしい。

しばし幽玄の世界にひたってから、とつぷり暮れた坂道をさらに上る。

一番安い料理での宿泊を申し込んでおいたのは正解だった。高い料理の方は、みんな食い残している。日本の宿屋の食事というのは、どうしてこう盛りだくさんなのだろう。まるで「ポトラッチ」だ。食料輸入大国なのに…と、ひとり腹をたてながら「天領盃」を味わう。

翌十月六日、早朝に起きて眼下の加茂湖を見ると、一羽の白鳥が漂っている。シベリアへ帰りそこねたらしい。あと二ヶ月もすれば仲間が戻ってくるだろうが、哀れを誘う。

サミットは午後からなので、二三km離れたしもく久知に熊谷さんを訪ねることにする。実は八月に学会で来た時にすでに調べはついていたのだが、かつて久知八幡宮の祭礼で使われていた「弥七郎面」が熊谷宅に秘蔵されている。

私とその面に興味を持ったのは、それが海府の浜で拾われたといういい伝えである。能登のアマメハギとかかかわると思われる「アマメヘギ」ということばが、外海府、それも岩谷口にだけ残っていたことは、前回歩いて確かめることができた。子供がいうことを聞かない時に「アマメヘギが来るぞ」とおどす。そんなことも今はなくなってしまったが、もっと以前にはアマメヘギの行事があったに違いない。弥七郎面が何かの手掛かりになるのでは？ そんな期待があったからである。

もちろん初対面の熊谷さんが、思ったより気軽に出して来てくれた面は、黒地に朱の隅取り、眼は金泥、白い歯と二本の牙。おそらく江戸時代にさかのぼるだろうという。この面がひとりで暴れ出したときに手斧で切りつけたという傷跡もたしかに残っている。

秋田のナマハゲ面は、「鬼面」という印象が強いがもともとこの系統の行事では、奇怪な面、番楽の面、男面・女面、空吹<sup>うそぶき</sup>の面なども使われている。弥七郎面も、かつて岩谷口のアマメヘギの行事に使われたが、たたりがあるというので、海に捨てられ、それが海岸に打ち寄せられ拾われた…。想像は広がるが何の根拠もない。

せめて、いつごろ、海府のどこの浜で、といったことを知りたかったが、熊谷さんはことばをにごした。

サミットは、新穂村<sup>にいほ</sup>役場の隣り「トキの村元気館」で開かれた。型通りの式次第報告は抜きにして、参加団体を紹介しておく。

- ・登別市（北海道）—「地獄谷」のあるまち。教育長ほか一名参加。
- ・北上市（岩手）鬼の館—世界中の鬼の「館」。出席は館長ただ一人。
- ・鬼無里村（長野）—鬼女「紅葉」伝説と「一夜山の鬼」が居無くなった里。助役ほか一名。
- ・柳田村（石川）—前回のサミットを主催した「猿鬼」伝説の村。教育長ほか七名。
- ・輪島市（石川）—大西山猿鬼伝説保存会会長ほか二名。
- ・大江山（京都）—人ぞ知る「酒呑童子」伝説。教育長ほか一名。
- ・上野市（三重）—大神秋祭に「鬼行列」。四鬼会会長以下総勢九名。
- ・白山町（三重）—「四鬼」を従える「千方將軍」の伝説。連合区長ほか二名。
- ・総社市（岡山）—「温羅」伝説の「鬼ノ城」と節分の鬼を迎える「鬼が辻」行事。鬼が辻実行委員会総勢五名。
- ・神辺町（広島）—八丈岩の伝説の鬼「権と八」。商工会青年部部長以下五名。
- ・栃尾市（新潟）—新参入。とちお異業種交流会二名。
- ・新穂村（新潟）—「鬼太鼓」の里。いうまでもなく今回の主催者で村長・大会長以下実行委員九名。その他村民多数。

各参加団体からそれぞれ報告があったが、鬼の館は、市民憲章と蝦夷<sup>えみし</sup>、鬼剣舞、創作民話「鬼翔平<sup>おにがけ</sup>」の絵本化、それにoniということばを国際語

にしたいと提案（翌日の新聞に大きく報道された）。

サミットは「宣言」を採択して成功裡に終わったが、来年の開催候補地がなく、再来年に神辺町で開催と決定した。

会場の外では折しも「朱鷺<sup>トキ</sup>夕映え市」が開かれていた。というよりはそこで行われる「鬼太鼓 in 新穂」に合わせてサミットを持ったといった方がよい。

中世、新穂荘は近江の日枝神社の荘園であった。村内の日吉神社（日枝神社）は、かつて山王権現と呼ばれ、現在も四月十四、十五日には山王祭が行われる。そしてこの日を中心に村内の各集落でそれぞれの鬼太鼓が奉納される。

鬼太鼓の面は、能登の「御陣乗太鼓」と共通したものもあるが、「べしみ」系もあれば般若面もある。ただ鬼太鼓に能の振りがとり入れられているのはさすが土地柄である。

屋外の舞台でも、まつりに集まった人々に各参加団体の紹介があった。北上の鬼の館では、来年の節分には全国から追われた鬼さんを迎え入れますので、「鬼はキタカミ…」と豆をまいてくださいと宣伝しておいた。

その晩は村をあげての歓迎の宴。数々の民謡と地酒は身に心にしみました。

翌七日は、まず「トキ保護センター」の見学。国産の繁殖は成功せず、中国産の番いをもとに、現在やっと二十数羽までこぎつけたが、放鳥までは道遠い。なにしろ環境が変わってしまい、餌となる小動物のいる小川や田んぼがない。これは人類の未来への「黙示録<sup>アポカリプス</sup>」かも知れない。

「佐渡金山」（本当は金銀山）は二度目なので足早に通り返けた。それにしても、地底で「オンナに逢いてえな」などとわめく自動人形はチョー気分わるい。「能楽の里」でも同様な仕掛けの「道成寺」を見せつけられたが、地元の人があやつる素朴な「のろま人形」の方がよっぽどいい。

サミット後の二日間は、八月に知り合った今井さんのご好意に甘えて愛車をお借りし、島内を調査した。おかげで予想以上に収穫があったがこれについてはいずれ発表したい。

再訪を心から歓迎して下さった新保さんや「よろづ」のご主人、その他折々に出会った人…。佐渡つちやほんとにいいところのう。

# 鬼の里だより

## ◎企画・展示

- 〈企画展16〉「魑魅魍魎展」  
 10/7～11/24 =入込客数 5719人=  
 〈特別展〉佐藤紫雲・戸島魯休書作展  
 12/3～12/27 =入込客数 612人=  
 〈特別展〉市民の心のたからもの展  
 1/19～2/23 =入込客数 1817人=  
 〈特別展〉平成14年度収蔵資料展  
 3/6～4/20

## ◎鬼学講座

- 10/18 特別講話「魑魅魍魎の世界」  
 講師：洋画家 田澤茂氏 参加者14人  
 11/16～17移動研修 三戸～八戸方面  
 「家々に祭られる鬼探訪」 参加者13人

## ◎鬼っこわんぱく講座

- 1/11 鬼剣舞体験① 参加者 6人  
 1/12 鬼剣舞体験② 参加者 8人

- 1/19 鬼剣舞体験③ 参加者 8人  
 1/26 鬼剣舞体験④ 参加者 8人  
 2/2 鬼剣舞発表 閉講式 参加者 8人

## ◎鬼ZZ・プレイミュージアム

- 10/12～3/30 はりこ面づくり 6回 参加者のべ62人  
 ～冬休みワークショップ～  
 12/26 招福くまでづくり 参加者15家族24人  
 12/27 招福くまでづくり 参加者15家族26人  
 1/8 連だこづくり 参加者12家族19人  
 1/10 連だこづくり 参加者12家族14人  
 1/11 連だこづくり 参加者8家族13人  
 1/17 はりこ面づくり 参加者11家族22人  
 1/18 はりこ面づくり 参加者9家族18人

## ◎鬼の館芸能公演

- 10/27 谷地鬼剣舞保存会 観客 172人  
 11/24 飯豊鬼剣舞保存会 観客 102人  
 3/23 御免町鬼剣舞保存会 観客 65人

# 入館状況

H14. 4. 1～H15. 3. 31

開館日数328日

単位：人

	個人	団体	無料	計
一般	13,758	4,968	6,522	25,248
高校生	172	3	154	329
小・中学生	1,458	94	2,663	4,215
計	15,388	5,065	9,339	29,792

# 利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。  
 なお、入館は午後4時30分まで。

- 休館日
- ・12月～3月の月曜日
  - ・12月～3月の国民の祝日の翌日  
 (土・日・月曜日の場合は火曜日)
  - ・館内整理日 (11月27日～12月2日)
  - ・年末年始 (12月28日～1月4日)
  - ・臨時休館日 (5/27・7/22・9/24・11/25)

## 入館料

一般	300円 (250円)
高校生	200円 (150円)
小中学生	150円 (100円)

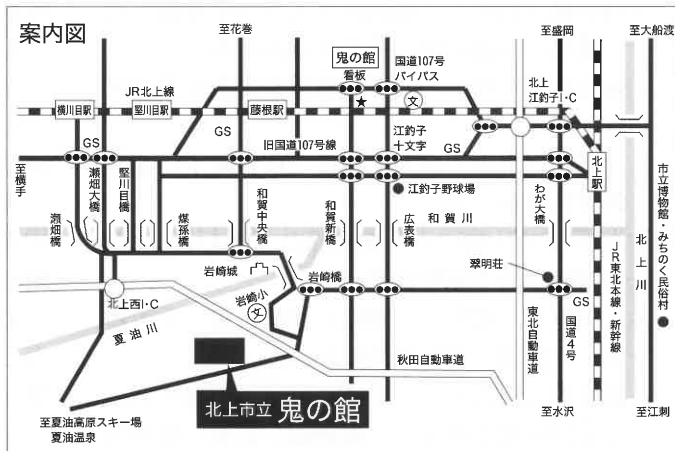
( )内は20人以上の団体料金。

下記の場合、市内小中学生は入館料が免除になります。

- ・毎週土曜日
- ・社会体験学習のしおりを持参した時
- ・学習活動で申請利用する時

## 交通案内

- ・JR北上駅西口よりバスで25分。  
 煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」下車徒歩10分。
- ・JR北上駅より車で20分。
- ・東北自動車道「北上江釣子I・C」、秋田自動車道「北上西I・C」よりともに車で15分。



# 北上市立鬼の館だより

第18号 2003.3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎6地割31番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508